

様式1 令和2年度 清瀬市立清瀬第五中学校 学校評価計画

学校の教育目標		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動	
・和敬 明るく思いやりのある人 ・思索 深く静かに考える人 ・剛健 たくましく、がまん強い人		育成を目指す資質能力 ・主として学びに向かう力、人間性等の涵養 ・主として思考力、判断力、表現力等の育成 ・主として心身の健康、豊かなスポーツライフの育成	
目指す学校像(ビジョン)			
【目指す学校像】	○生徒にとって、楽しく、行きがい(生きがい)のある学校 ○保護者にとって、親しみが有り、地域に誇りに思われる学校 ○教職員にとって、自己研鑽に励み、協力して進める学校		
【目指す児童・生徒像】	○和敬…明るく思いやりのある人 →「チームで働く力」「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」の育成 ○思索…深く静かに考える人 →「考え抜く力」「課題発見・解決力」「計画力」「創造力」の育成 ○剛健…たくましく、がまん強い人 →「前に踏み出す力」「主体性」「働きかけ力」「実行力」「規律性」「ストレスコントロール力」の育成	特色ある教育活動 体験的な学習活動を主軸として、創造性豊かで自他を尊重する精神を身に付けた人間性豊かな生徒を育成する。 そして明るく平和な文化国家の実現に尽くす、誠実で実行力のある人間を育成する。 ・人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付けさせる。 ・各教科の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けさせる。 ・健康で安全な生活を送るための基礎となる知識や技能を身に付けさせるとともに、体育科の授業を軸として体力向上を図る。また、家庭や地域社会と連携して体験的な学習活動を充実させる。	
【目指す教師像】	○常に生徒のことを第一に考える教師 ○日々研修に努め、チャレンジ精神をもって授業の改善、充実に取り組む教師 ○生徒のためという同一の視点に立って協力し、支え合う ○体罰や不適切な指導を許さぬ教師		

前年度までの学校経営上の成果と課題
 ○学校関係者評価での、「紙媒体」での情報伝達は伝わりにくい』、の意見を受け、今までより一層学校ホームページと一斉メールの配信に努めたことで、保護者の学校への協力度や肯定的なご意見が増した。継続して取り組むとともに、即時性と伝達内容の精査が課題である。
 ○専門家による体験的な学習は、清瀬市子どもたちに育てたい四つの力のうち「生きて働く知識・技能」の醸成に向けた取り組みとして成果をあげている。引き続き継続して行うことでより成果が上がると思うが、今年度はこの情勢下、講師の選定や実施方法についてが課題である。

柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けさせる。	誰もが分かる授業を展開する。	配慮が必要な生徒への支援を行う。 目標(学習めあて)の提示・導入の工夫・めあてと板書内容を使った振り返りを行う。	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満 4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満 4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
豊かな心の育成	コミュニケーション能力の育成を重視し、共に学び合うことを通して、人権を尊重する理念を正しく理解させ、自他の生命を尊重する心を育てる。	いじめの未然防止、早期発見の取組みを全教職員で組織的にこなう。 身の回りの環境や地域社会、福祉などについて考えることを通し、主体的に判断し、課題を解決する能力や態度を育てる。	いつでも誰とでも相談週間やふれあい月間調査、学級環境適応感尺度(アセス)を実施し、生徒一人一人の実態を把握・分析して指導にいかす。 学級活動や総合的な学習、生徒会活動(あいさつ運動、募金活動、ボランティア活動など)を通し、公共心や社会性を育てる。	4 年間5回以上実施 3 年間4回実施 2 年間2回実施 1 実施回数年間2回未満 4 関わる学習活動を年間3回以上実施 3 関わる学習活動を年間2回実施 2 関わる学習活動を年間1回実施 1 関わる学習活動を実施することができなかった 4 関わる学習活動を年間3回以上実施 3 関わる学習活動を年間2回実施 2 関わる学習活動を年間1回実施 1 関わる学習活動を実施することができなかった 4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満	4 生徒の満足度の評価A(児童・生徒の80%以上) 3 生徒の満足度の評価B(児童・生徒の50%以上～80%未満) 2 生徒の満足度の評価C(児童・生徒の30%以上～50%未満) 1 生徒の満足度の評価D(児童・生徒の30%未満) 4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満 4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
健やかな体の育成	生徒の主体的な活動を充実させ、心身の健康、豊かなスポーツライフを実現できる知識及び技能を習得させる。	東京都中学校体育連盟研究奨励校の取組みをはじめとした生徒の学力・体力の向上のための研究(仲間と対話して)	各種分野の専門家による指導など生徒が体験的に学ぶ機会を設ける。 健康・安全に係る取組みを生徒会活動などを通して実施し、生徒の主体性を育てる。	4 教職員の自己評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の自己評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の自己評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教職員の自己評価で、肯定的回答70%未満 4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満 4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満 4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
特別支援教育の充実	専門家や外部機関との連携をすすめ、特別支援教育への理解を深めていき、支援を要する生徒の視点を踏まえた授業や環境の工夫改善に取り組む。	生徒一人一人の教育的ニーズを把握するとともに、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じた指導を実施し、個に応じた確かな学力を定着させる。	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業(教師の言葉かけや授業の進め方等)の実施や、教室環境の整備を推進する。 サポートルーム教員との連携を密にとり、支援を必要とする生徒の情報を全教職員で共有し、組織的に対応する。	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満 4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満	4 保護者へのグループインタビューで、「極めて良好」(申し分なく達成)と評価 3 保護者へのグループインタビューで、「良好」(概ね達成した)と評価 2 保護者へのグループインタビューで、「もう一歩」(やや下回った)と評価 1 保護者へのグループインタビューで、「奮起を期待」(大きく下回った)と評価 4 教職員の達成度の評価A 3 教職員の達成度の評価B 2 教職員の達成度の評価C 1 教職員の達成度の評価D
本校の特色	保護者や地域に開かれた学校を創造し地域連携を深める。	情報の公開により、開かれた学校を推進し、保護者や地域の方々による教育活動への参画を促して学校運営に反映させる。 学校支援本部、前保護者代表者会等と協働し、生徒の健全育成に努める。	学校ホームページと一斉メールを活用し、日々の教育活動を適時的に確に掲載・発信する。 保護者を含めた、地域人材の活用を積極的に行う。	4 教員の自己評価で、肯定的評価90%以上 3 教員の自己評価で、肯定的評価70%以上 2 教員の自己評価で、肯定的評価50%以上 1 教員の自己評価で、肯定的評価50%未満 4 全学年で、地域の人材を活用 3 3分の2以上の学年で、地域の人材を活用 2 3分の1以上の学年で、地域の人材を活用 1 地域の人材の活用が未実施	4 保護者の満足度A 3 保護者の満足度B 2 保護者の満足度C 1 保護者の満足度D 4 保護者の満足度A 3 保護者の満足度B 2 保護者の満足度C 1 保護者の満足度D